

うんなん

5 初夏号
2010 vol.17
平成22年5月15日発行

広報うんなんは、雲南広域連合・公立雲南総合病院・雲南消防本部が共同で発行しています。

藤(フジ)

4月から5月に淡紫色または白色の花を房状に垂れ下げて咲かせます。日本では古来より、花の鑑賞や籠などの道具の材料などに用いられてきたため、各所でフジに因んだ名称や意匠を目にすることができます。

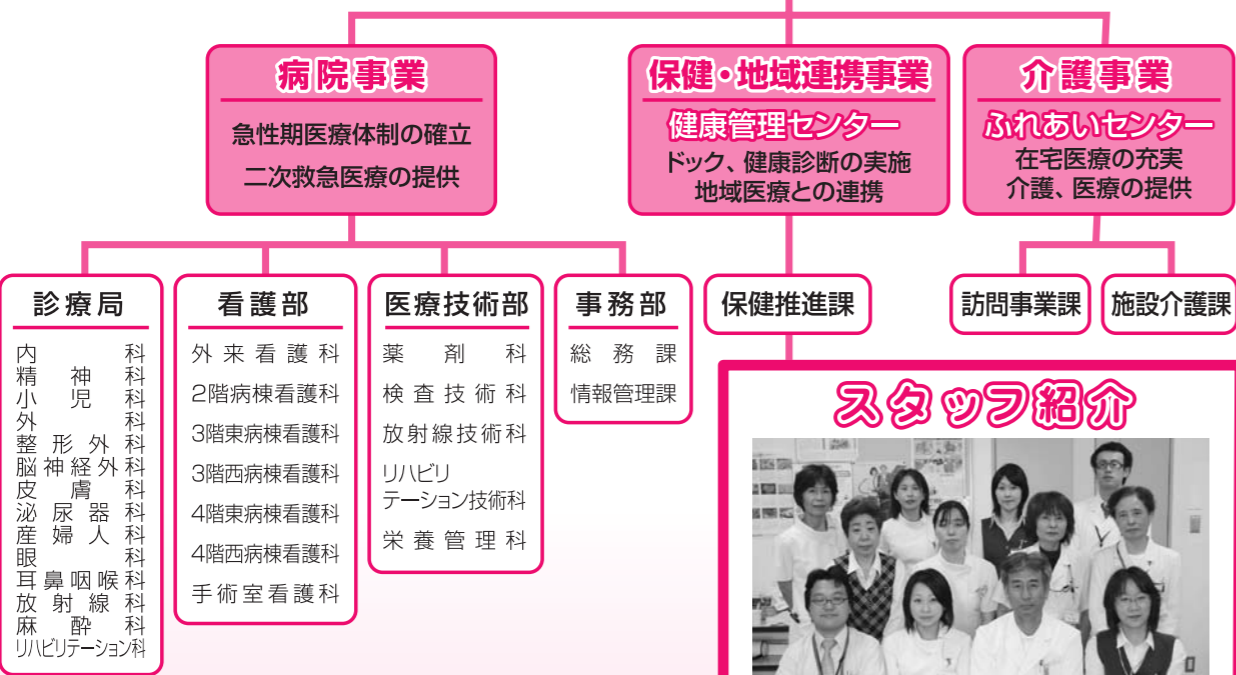
CONTENTS

公立雲南総合病院	P2~7
松井病院長就任のあいさつ	2
組織図・センター事業紹介・健康管理センター紹介	3
平成22年度事業会計予算の概要	4
改革プラン評価委員会開催報告・春季高校生医療現場体験セミナー開催	5
新人医師紹介・永年勤続職員退職者・合同火災避難訓練	6
外来診療担当医一覧表	7
雲南消防本部	P8~13
消防長就任あいさつ・雲南消防本部組織図	8
議会報告	9
消防庁長官表彰(大東小学校)	10
防火クラブ紹介	11
住宅用火災警報器の日	12
各種講習案内	13
雲南広域連合	P14~21
広域連合長所信表明要旨・議会報告	14
広域連合組織図・職員配置	15
平成22年度雲南広域連合当初予算の概要	16~17
介護保険情報コーナー	18~21
雲南イベント情報	P22~23

平成22年度 公立雲南総合病院組織図 センター事業紹介

公立雲南総合病院組合

公立雲南総合病院



スタッフ紹介



(前列右から) 保健推進課課長：岡田保健師
センター長：末光副院長
保健係係長：渡部保健師
地域連携係：三島相談員
(中列右から) 地域連携係：佐々木看護師
地域連携係：木村看護師
保健係：松浦保健師
保健係：永瀬事務員
(後列右から) 地域連携係：森廣相談員
保健係：須山事務員
保健係：藤原保健師
保健係：曾田看護師

健康管理センターを紹介します！

今年度から保健推進課は健康管理センターとして新たなスタートをきることとなりました。
センター長に末光副院長を迎え、スタッフ一同気持ちも新たに頑張っています。
地域の医療機関をはじめ保健、福祉分野との連携強化をはかり、市と一体化しての地域保健・福祉の充実にむけて取り組んでまいりますので、今後ともよろしくお願致します。

地域連携係

病診連携、病病連携、医療福祉相談の3本柱で地域の医療機関、福祉関係機関と連携を取り患者様が安心して通院・入院ができるよう支援させて頂いております。
平成19年度から現在の地域連携体制となり、まだまだ完全とは言えませんが、皆様からご意見頂き、更なるサービス向上に努めていきたいと思っております。
病診連携は、主に看護師の木村が担当しており、当院から紹介させて頂く病院への予約手続きを行っております。また、医院からの放射線検査予約や小児の予防接種の予約等医療機関だけに限らず、多岐に渡り患者様と病院の橋渡しに頑張っています。
病病連携は、主に看護師の佐々木が担当しており、高度医療機関等からの転院相談に対応しています。患者様やご家族の多くは地元の病院でお願いしたいという希望を持っておられ、当院に転院されると大変喜ばれます。
医療福祉相談は、主に相談員の三島、森廣の2名で対応しております。雲南圏域は島根県内でも高齢化率が高く、入院している患者様は後期高齢者（75歳以上）の方が多くを占めています。近年では独居や高齢者夫婦などで構成された世帯の患者様が多く、このような患者様が地域で安心して暮らせるよう、関係機関と調整し、患者様を支援できるようこれからも頑張りたいと思っております。

保健係

私たち保健係は、保健師の渡部、松浦、藤原、看護師の曾田、事務員の須山、永瀬の計6名で、人間ドック・健診事業を中心に、健康教室（糖尿病教室、運動教室）、療養指導（糖尿病などの指導）、訪問指導、患者会の支援、集団インフルエンザ予防接種などのさまざまな業務を担い、当院の患者さまをはじめ地域住民の皆さまの健康生活をご支援させて頂いております。
今年度は、糖尿病など生活習慣病患者さまへの悪化予防対策としての療養指導や、退院患者様への在宅療養支援としての訪問指導を強化したいと考えています。
また、地域の中核病院として、地域住民の皆さまへ安全安心な人間ドック・健診を提供し、健診活動を充実させるよう取り組んでいきたいと思っております。
これからも地域の皆さまの声に耳を傾け、ニーズに応じた事業を計画・実行し、「地域のみなさまに親しまれ、信頼され、愛される病院」となるよう頑張りたいと思っております。



松井病院長就任のあいさつ

平成二十二年四月一日付けで公立雲南総合病院の病院長を命じられました松井でございます。紙面を借りまして就任のご挨拶を申し上げます。
昨今の地域医療の全国的崩壊を考えますと、このような時期に大変な職責の仕事を任されたことに身の引き締まる思いがしております。
さて、ご存じのように当院は平成二十三年度から市立病院となります。それに向けての舵取りが私に与えられたミッションであると考えています。国の医療政策が、効率化の名のもと改悪とも思われる変革を余儀なくされている状況下に、当院をどのように導いていくのか大変に難しい状況であります。自治体病院は不採算の分野の医療も行う責任があります。将来も安定した経営を行い、さらに質の高い医療を住民の方々に提供し続けるこ

とは正直容易ではありません。
昭和六十二年以来、二十三年にわたりこの病院に勤務させて頂いたとき、この地の医療の実情を少しは理解できていると自負しています。今までの経験を生かして当院の今後の方針について熟慮し、実行することが私の責務であると考えています。
そこで、現在考えている方針の一端を述べたいと思っております。即ち、医療を中心として、予防及び介護を含めたケアミックスの病院形態をさらに充実させることです。具体的には、保健管理事業、介護事業、医療の3つの柱の責任者を決め、将来的には市と密接な連携を行い、各々の事業を一層充実させたいと思っております。保健・地域連携事業は市のヘルスプロモーションセンターの役割を担うことが出来るように、また、介護事業は当院の強みであるリハビリスタッフの活用で質の高い介護施設として発展させたいと考えています。医療に関しては現在、多くの難問が山積しています。特に医師、看護師のマンパワー不足が大きな問題であります。特に医師の場合、国、大学医局の考えが医師の集約化・重点化に向かっていることです。従来のように大学医局からの医師派遣は大変困難な状況です。あと

数年は地方の医師不足の時代が続くと思われる。医師の動向が新しい時代に突入していることを、職員の方はもとより住民の方々にもご理解を頂きたいと思っております。数年後には地域枠推薦の医師が誕生します。雲南地方からは毎年二人程度は卒業して医師となる予定です。若くて地域医療に情熱がある医師達が、この地に勤務し続けてくれる環境整備をすることが最も重要と考えています。具体的には島根大学医学部と連携を取りながら、地域に必要なプライマリケアを目的とした総合医療を学び、さらには内地留学を含め専門医療を学べる状況を整備して、医療レベルが落ちないシステムを作ることを目指したいと思っております。
最後になりますが、マンパワー、リソース、キャパシティが無いと良い医療は提供できないと巷で言われ、多くの若い医療人が大病院へと流れる傾向にあります。このような状況が正しいかどうかの判断は歴史に任せるとして、当院が将来にわたりこの地の医療を守り、健康づくりに貢献出来る病院として存続出来るべく、住民の方々と対話をしながら努力をしたいと考えています。もとより非力ではございますが、精一杯頑張る所存でございますので、皆様の御指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年度 第2回公立雲南総合病院 改革プラン評価委員会開催報告

3月24日、標記評価委員会を開催しましたので概要を報告します。この委員会は、総務省が提示した「公立病院改革ガイドライン」に基づき作成した「改革プラン（当院ではステップアッププランと命名）」の進捗状況の検証及び評価をする組織で、年2回開催することとしています。当院の評価委員会は、外部の有識者8名（医療関係、住民代表、行政）で構成しており、委員長には島根大学医学部熊倉教授に、副委員長には雲南医師会を代表して本永瀬医院の永瀬先生にご就任いただいております。

委員会では、事務局からのプラン進捗状況の報告に対し、各委員から、保健事業に対する今後の方向性、現在行っている医師・看護師等の医療職を育てる取り組みの継続、プランを遂行する上で、短期的・長期的な視点等で整理して取り組むべきことなど、貴重なご意見を多数いただきました。

今後、いただいた意見を基に、修正を図りながら、プランに沿った病院運営に努めていきたいと考えております。
※総務省によるガイドラインでは、3年計画による経営改革を総合的に盛り込んだ改革プランの策定が求められており、当院でも昨年3月に作成しました。



春季高校生医療現場体験セミナー開催



平成21年度第2回目の「高校生医療現場体験セミナー」を、県東部の高校7校から38名の参加の下、3月29日（月）に開催しました。このセミナーは将来、医師、看護師を始めとする医療職を目指す学生を増やすことを目的に、年2回春休みと夏休みの期間を利用して開催しています。セミナーでは、医師志望、看護師志望、医療技術系志望等、将来目指したい職種が体験できるコースを設定し、その職種を体験することでより認識を深められるようにしました。また、雲南消防本部にご協力いただき、AEDの操作や心肺蘇生法の講習も行いました。

参加した生徒からは、将来の進路に向けて大変参考になった、なりたい職種の認識が更に深まった、医師、看護師になりたいと思う気持ちがより強くなった、とても丁寧に教えてもらってよかった等、大変好評でした。

将来、今回参加した学生の中から、医療に携わる仕事に就いて、地域医療を守ってってくれる子が多く育ってくれることを期待しています。

平成22年度 公立雲南総合病院組合 事業会計予算の概要

業務の予定量

1 病院事業

(1)病床数 283床
 一般199床(うち12床亜急性期)
 精神50床(一時的閉鎖)・
 回復期リハビリ30床・感染症4床

(2)患者数 入院 68,620人
 1日平均患者数 188.0人
 外来 102,480人
 1日平均患者数 420.0人

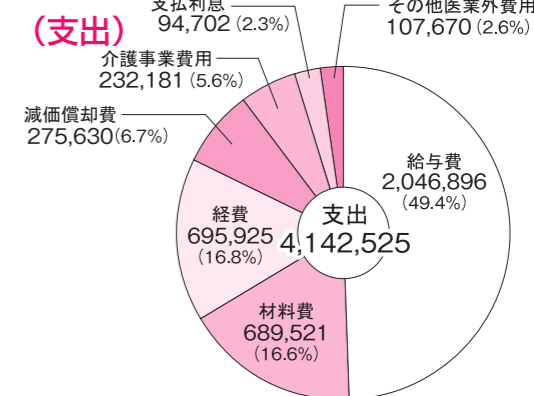
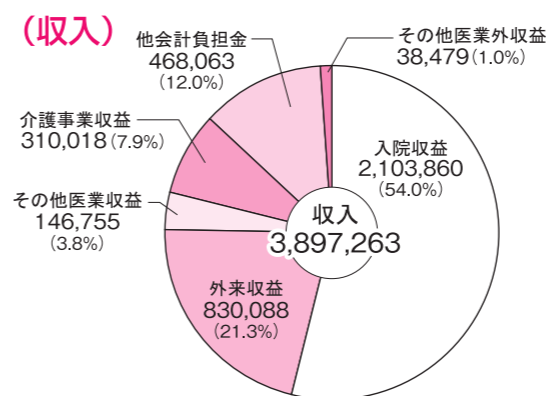
2 介護事業

(1)訪問看護事業
 延利用者数 5,668人
 ※訪問リハビリ事業含む

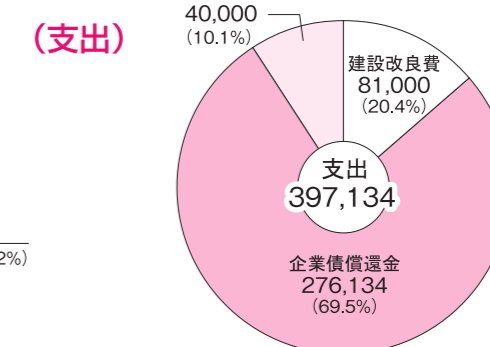
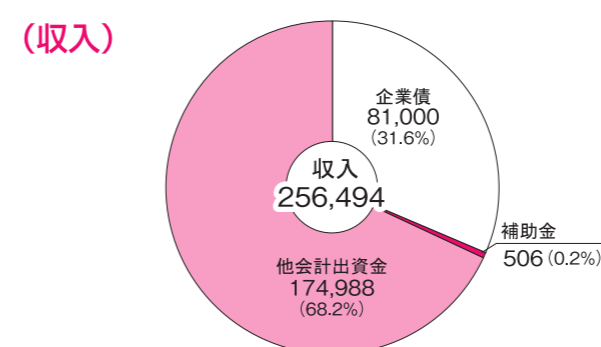
(2)訪問介護事業
 延利用者数 2,326人

(3)療養病床事業
 ①病床数 48床
 【療養(介護型)】
 ②延患者数 16,060人
 ③1日平均患者数 44.0人

収益的収支 (消費税込、単位：千円)



資本的収支 (消費税込、単位：千円)



※資本的収支不足額140,640千円は内部留保資金で補てんします。

※一般会計からの繰入れは収益的収入と資本的収入の合計で643,051千円の予定となっています。

外来診療担当医一覧表

平成22年5月10日現在

受付時間	午前	8時30分～11時00分(初診の方) 7時15分～11時00分(再診の方)
	午後	1時00分～ 4時00分(診療科については下記の表をご確認ください。)
休診日	土、日曜日・祝日・年末年始(12月30日～1月4日) ※尚、急患の方はお問い合わせください。	
面会時間	午前11時00分～午後8時00分 ※上記以外の面会は診療に差支えますのでご遠慮下さい。	

【所在地】

〒699-1221
島根県雲南市大東町飯田96-1
Tel 0854-43-2390(代)
Fax 0854-43-2398
(ホームページアドレス) <http://unnan-hp.jp/>

診療科	月		火		水		木		金		
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	
内科	一診(再診:予約)	服部 修三	-	曾田 一也	-	服部 修三	-	服部 修三	-	曾田 一也	-
	二診(再診:予約)	-	-	山本 俊	-	田中 敬康	-	山本 俊	-	-	-
	三診(糖尿病:予約)	糖尿病外来(隔週)	-	血液内科外来(隔週)	-	-	-	-	-	糖尿病外来	-
	六診(初診)	曾田 一也	-	服部 修三	-	山本 俊	-	曾田 一也	-	田中 敬康	-
	内視鏡検査	山本 俊	-	大学 医師	-	曾田 一也	-	越野 健司	-	大学 医師	-
	循環器外来	予約	金築 一摩	-	-	-	今井 健介(10時から診察)	-	-	-	織田 禎二
神経内科外来	予約	-	-	-	-	-	-	齋藤 潤	-	-	-
小児科	一診	大家 隆晴	-	大家 隆晴(大家 隆晴)	大家 隆晴	-	大家 隆晴(大家 隆晴)	大家 隆晴	大家 隆晴	大家 隆晴	大家 隆晴
	二診	高橋 知男	高橋 知男	高橋 知男(高橋 知男)	高橋 知男	-	高橋 知男(高橋 知男)	高橋 知男	高橋 知男	-	-
外科	一診	末光 浩也(一部予約)	予約:乳腺甲状腺外来	大谷 順(一部予約)	-	末光 浩也(一部予約)	-	大谷 順(一部予約)	予約:ステマ外来(第2水曜日)	須藤 一郎(一部予約)	予約:乳腺甲状腺外来(隔週)
	二診	-	末光 浩也	-	-	須藤 一郎(一部予約)	-	-	末光 浩也(一部予約)	末光 浩也	末光 浩也
整形外科(再診:予約)	一診	松井 譲	-	三木 克明(脊椎・人工関節専門外来)	松井 譲	-	三木 克明(脊椎・人工関節専門外来)	松井 譲	-	-	-
	二診	西山 彰博	-	三木 孝人	-	三木 孝人	-	三木 孝人	-	西山 彰博	-
	三診	檀浦 智幸	-	檀浦 智幸	-	西山 彰博	-	-	-	檀浦 智幸	-
脳神経外科	丸山 信之	-	丸山 信之	-	丸山 信之(第2水曜日休診)	-	丸山 信之(第3水曜日休診)	-	大学 医師	-	-
産婦人科	川上 伸兒	-	大学 医師	-	川上 伸兒	-	川上 伸兒	-	川上 伸兒	-	-
耳鼻咽喉科	一部予約	佐野 啓介	予約・一般14:30～佐野 啓介	佐野 啓介	-	佐野 啓介	-	佐野 啓介	-	佐野 啓介	予約・一般14:30～佐野 啓介
眼科	再診のみ予約	-	-	大学 医師	大学 医師	大学 医師	大学 医師	-	-	大学 医師	大学 医師
泌尿器科	安本 博晃(一部予約)	-	-	-	洲村 正裕(一部予約)	-	-	-	-	椎名 浩昭(一部予約)	-
麻酔科	大学 医師	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
皮膚科	一部予約	大学 医師	-	-	-	大学 医師	-	-	-	大学 医師	-
放射線科	大学 医師「読影のみ」	-	-	-	-	-	-	大学 医師「読影のみ」	-	-	-
リハビリテーション科	大塚 昭雄「紹介患者のみ」	末光 浩也「紹介患者のみ」	大塚 昭雄「紹介患者のみ」	末光 浩也「紹介患者のみ」	大塚 昭雄「紹介患者のみ」	末光 浩也「紹介患者のみ」	大塚 昭雄「紹介患者のみ」	末光 浩也「紹介患者のみ」	大塚 昭雄「紹介患者のみ」	大塚 昭雄「紹介患者のみ」	大塚 昭雄「紹介患者のみ」
精神科	原 陽一	-	坪内めぐみ	-	代務 医師	-	横山 勝利	-	-	-	-

- 小児科: 乳児健診、ワクチン外来は毎週水曜日午後(要予約)に行っております。
●乳児健診: 午後2時～3時 ●ワクチン外来: 午後3時～4時 ●一般外来は休診となります
- 外科: 肛門外来、禁煙外来(要予約)は、午前診療にて行っております。
- 整形外科: 再診の方は予約が必要です。電話での予約は、午後2時～5時にお願いいたします。
脊椎外科・人工関節専門外来を受診希望される場合は、外来窓口へお申し付けください。
初診の方もできれば予約をお願いいたします。
- 泌尿器科: 診療開始時間は9時15分からとなります。尚、派遣医師に変更があることがあります。
- 脳神経外科: 金曜日(第1～4金曜日)は10時から大学医師による診察をいたします。
- 内科: 神経内科外来の予約は、内科外来へ午後2時～5時にお願いいたします。
- 緩和ケア専門外来: 毎週火曜日午後2時～麻酔科外来にて行っております(要予約)。

診療・予約等に関するお問合せは (0854)43-2390(代) までご連絡ください。

新人医師紹介



たなか ひろやす
内科部長 **田中 敬康**

●趣味… 登山・ジョギング

中・高齢者医療をやっております。生活習慣病など相談にきて下さい。脳、心の血管障害の少ない町にしましょう。



にしま あきひろ
整形外科医長 **西山 彰博**

●趣味… 旅行

初めての場所で慣れないことが多いですが、頑張っていきますのでよろしくお願いいたします。



永年勤続職員
退職者

長い間ご苦労様でした。今後の皆様方のご健勝を祈念いたします。

合同火災避難訓練

2月23日(火) 春季火災予防運動のあわせ、雲南消防本部と病院による合同の火災避難訓練を行いました。この合同火災避難訓練は、駅前自治会、病院ボランティアの皆様の参加により総勢約100名にて訓練を実施致しました。訓練では、はしご車を使って救助活動を実施し、また駅前自治会の皆様と避難誘導活動を行いました。火災を発生させないことが一番重要ですが、今後はお互いに情報を共有してすばやい行動がとれるようにしなければならぬと感じました。



雲南消防組合

議会報告

平成二十二年二月二十四日、平成二十二年第一回雲南消防組合議会定例会を開催しました。今回の議会に次の議案を提出し、すべて原案どおり可決されました。

議決された事項

雲南消防組合火災予防条例の一部を改正する条例

- 総務省消防庁の検討会の報告を受け、個室型店舗(カラオケボックス等)の個室に設ける戸に係る規正を行うため、条例の一部を改正しました。

消防職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

- 勤務時間の改正及び労働基準法の改正に伴い、条例の一部を改正しました。

消防職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

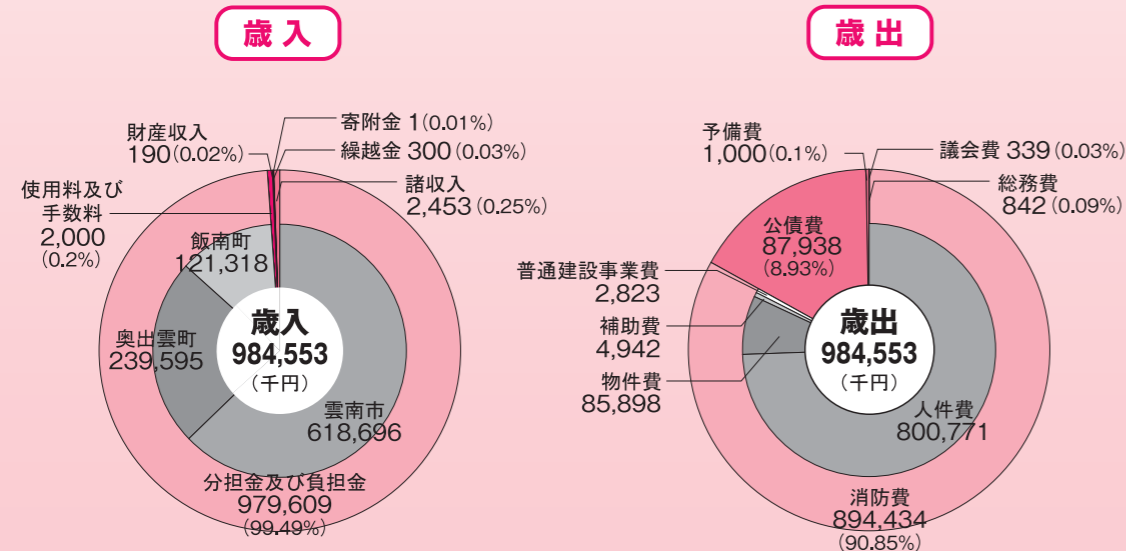
- 労働基準法の改正及び人事院勧告等を受け、条例の一部を改正しました。

消防職員の給与の特例に関する条例の制定について

- 厳しい財政状況にかんがみ、平成22年度の職員の給料を減額する条例を制定しました。

平成22年度雲南消防組合一般会計予算

- 平成22年度一般会計予算は、歳入歳出総額984,553千円となりました。



〈歳入の主な内容〉

主な収入は構成市町分担金が最も多く、歳入全体の9割を占めています。

消防長就任あいさつ

雲南消防本部
消防長 佐藤 均

この度、4月1日付けで雲南消防本部消防長を拝命いたしました。もとより浅学非才の身であり、雲南地域の皆様の生命・身体・財産を火災などの災害から守るという重責に、身の引き締まる思いでございます。

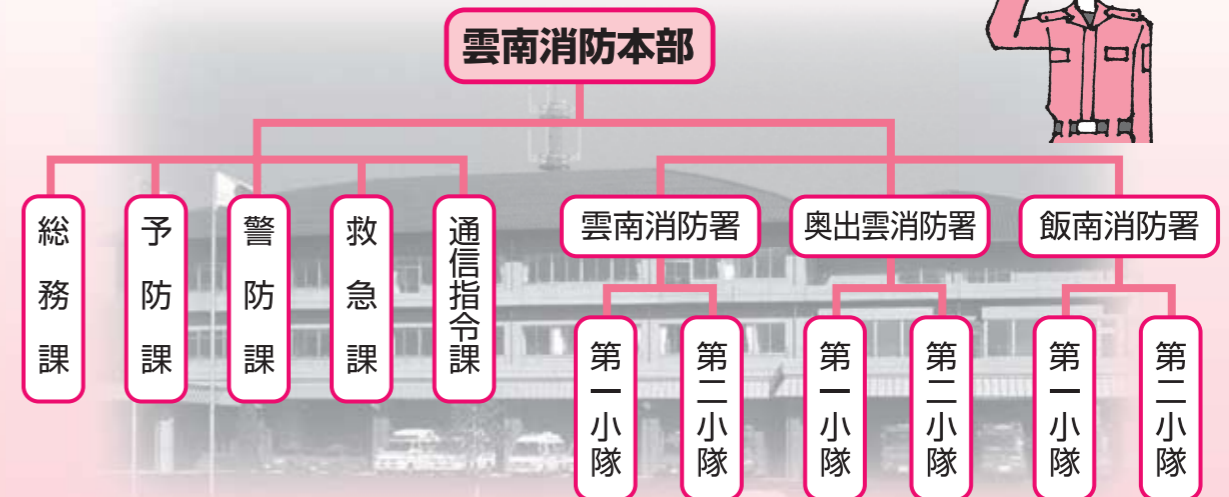
近年、高齢化に伴い、住宅や社会福祉施設等の火災対応や自然災害時の要救助者支援のあり方、救急では新型インフルエンザ対策など、防災に対する住民の皆様の関心は高くなり、消防に寄せられる期待はますます大きなものとなっています。

雲南消防本部・消防署としては、こうした状況に対応するため、火災予防、救急対応の充実強化はもとより、地域防災の推進を図るなど、住民の皆様へ積極的な防災意識の高揚に努めて参りたいと思います。また、急速な情報化システムの進展により、全国的な消防救急無線のデジタル化や各種資機材の整備など必要となっています。厳しい財政状況の中ではありますが、鋭意取り組んで参ります。

住民の皆様はもとより、消防団をはじめ構成市町並びに消防組合議会のご理解とご協力を賜り、職員一人ひとりが消防の使命感を自覚し、皆様の負託に応えられるよう努力する所存です。

今後とも皆様の変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

雲南消防本部の組織図



雲南消防本部・雲南消防署

雲南市木次町里方1100番地6
代表 (0854) 40-0119
FAX 42-1911
総務課 (0854) 40-0129
予防課 (0854) 40-0139
警防課 (0854) 40-0149

奥出雲消防署

仁多郡奥出雲町三成1392番地89
代表 (0854) 54-2166
FAX 54-2155

飯南消防署

飯石郡飯南町花栗840番地13
代表 (0854) 72-1201
FAX 72-1204

火災の問い合わせ (0854) 42-0119

ホームページURL

<http://user.kkm.ne.jp/unnan-fd>

モバイルサイト
QRコード



防火クラブ紹介



砂子原上自治会
防火クラブ
会長 渡部 弘明

私たち砂子原上自治会防火クラブは、雲南市の北部、JR木次線沿いに位置し、戸数22戸、人口約90人の小規模ではありますが、地域の主要な農産物であるお茶の畑に囲まれた自然豊かな自治会の防火クラブです。

当防火クラブは平成10年2月に結成しました。当初は婦人防火クラブとしての結成を目指していましたが、地域における防火への取り組みは、女性だけに任せるのではなく、地元消防団などと連携を図りながら地域が一体となって取り組むことが重要であるとの認識から、自治会防火クラブとして発足しました。

以来、砂子原自治連合会(当自治会や他の2自治会で組織)が毎年主催する防火講習会に参加し防火意識の高揚に努めたり、各種の防火活動に取り組んで参りました。

平成21年度の主な活動は、砂子原自治連合会が開催した防火講習会(雲南消防署において実施)に参加し、庁舎見学、消防車両見学、避難訓練、消防署員の訓練の見学などを体験しました。また、平成23年5月末までに設置が義務付けられている住宅用火災警報器について、共同購入事業等を行い設置率の向上に向けた取り組みも行いました。

今後は、火災予防や防火意識の高揚への取り組みはもとより、複雑・多様化している災害の中で、災害弱者といわれるお年寄りや障がい者の方々に対し、災害時には地域全体が支援していく取り組みも必要であると考えています。

子供のライター使用にご注意!!

4月中に北海道と宮城県で、幼い子供を乗せた車両火災が相次ぎ、尊い命を失うという痛ましい結果となりました。出火原因は車両に残されていた電子式ライターで、子供が火遊びをしたことによるものと考えられます。

消費者庁の調査の結果、子供の火遊びによる火災のうち、ライターが起因であるものが半数以上にのぼり、かつ5歳未満において死傷者発生率が高いことが確認されました。また、ライターの種類としては使い捨て式のライターが9割を占めると報告されました。

身近にある便利なライターですが、火の怖さを理解できていない子供たちが使用すれば、命を奪う凶器へと変貌してまいります。



- 子供の手の届くところにライターを置かない。
- 子供にライターを触らせない。
- 子供がライターで火遊びをしているのを見かけたら、すぐに注意をしてやめさせる。
- 理解できる年齢になったら、子供に火の怖さを教える。

平成22年度 全国統一防火標語

「消したかな」 あなたを守る 合言葉

雲南消防本部管内では今年に入り9件の火災が発生しています(5月10日現在)。いずれの火災もちょっとした不注意によるものです。あなたの大切な命や財産を守るために、常に「消したかな」を心に留めながら火の取扱いをしてください。



大東小学校少年消防クラブ



雲南市大東町の大東小学校少年消防クラブ(会長 鳥谷 和生校長、クラブ員241名)が、「優良な少年消防クラブ」として全国少年消防クラブ運営指導協議会(会長 河野 栄消防庁長官)表彰を受賞されました。

同クラブは平成元年に結成以来、火災、地震などを想定した避難訓練、消火訓練や、消防本部が実施している少年消防クラブ員研修会への参加など、日頃から防火・防災に積極的に取り組んでこられた功績が認められたものです。

3月26日、総務省消防庁で行われた表彰式には、同クラブを代表して菅田那樹君が出席し表彰を受けました。



鳥谷 和生 校長のコメント

このような荣誉ある賞を本校クラブが受賞し大変うれしく思います。これからも子供たちが防火・防災について学べる機会をたくさん作り、積極的な活動を展開していきたいと思っています。

菅田 那樹 君のコメント

全国から多くのクラブ員が参加し、張り詰めた空気の中での表彰式で少し緊張しましたが、大東小学校の代表として受賞できたことをとてもうれしく思います。今回の経験や、今後のクラブ活動を将来に生かしたいと思っています。



消防職員意見発表中国支部大会で優秀賞

4月28日(水)岡山県岡山市において「平成22年度全国消防職員意見発表中国支部大会」が開催されました。雲南消防本部からは藤原 祐消防副士長が島根県代表として出場し、中国5県の代表10名のうち見事「優秀賞」を受賞しました。藤原副士長は「防火の仕掛け人」と題し、腹話術人形「きゅうちゃん」と共に、火災・災害予防の普及啓発と住宅用火災警報器の設置促進に向けた積極的な広報活動の取り組みについて力強く発表しました。

平成22年度 全国消防長会中国支部
消防職員意見発表会



(財)救急振興財団から高度な救急救命処置の訓練用資機材寄贈



高度な救急救命処置の訓練用資機材

昨年9月からの7か月間、救急救命九州研修所に中林 直仁消防士長が入校していました。厳しい研修を修了し、3月23日の卒業式では196名の研修生の内、特に成績が優秀であったと認められ、(財)救急振興財団から雲南消防本部へ「高度な救急救命処置の訓練用資機材」が寄贈されました。

今後、この訓練用資機材を署内での訓練や研修で有効に活用し、地域医療の発展・向上に向け救急救命技術・知識の向上を図っていきます。

お知らせ

防火管理者(甲種)資格取得講習会

一定規模以上の防火対象物(事業所等)では、防火管理者を選任し、消防長に届け出るとともに当該防火対象物の維持管理、消防用設備等の点検整備、消火・通報・避難の訓練の実施等、防火管理上必要な業務を行わせることが消防法で義務付けられています。

防火管理者は、各事業所等の防火管理上必要な業務を適切に遂行できる、管理的または監督的な立場の人で、防火管理に関する講習会の課程を修了し、資格を取得しなければなりません。

今年度も2回開催しますので、この機会に資格を取得しましょう。

	第1回	第2回
講習日	平成22年6月17日(木)・18日(金)	平成22年10月14日(木)・15日(金)
定員	65名	65名
会場	雲南消防本部	



第23回少年消防クラブ員研修会

雲南防火委員会では少年期における防災教育の一環として、小学校4年生以上を対象とした少年消防クラブ員研修会を開催します。多くのクラブ員の参加をお待ちしています。

日時	平成22年7月29日(木)	会場	雲南消防本部
申し込み方法	各小学校を通じて、申し込んでください。(6月中旬)		
研修内容	昼食作り、消防車・救急車などの見学、消火訓練、地震・煙・放水体験、救急法など		

※ 詳細については、雲南消防本部 予防課(TEL0854-40-0139)にお問い合わせ下さい。



設置しよう!! 住宅用火災警報器

～毎月10日は「住宅用火災警報器の日」～

皆様のご家庭は住宅用火災警報器を設置されましたか。既存の住宅への設置義務化まであと1年となりました。そこで、雲南消防本部では、住宅用火災警報器の「じゅう」にちなんで、毎月10日を「住宅用火災警報器の日」と定めて設置率100パーセントを目指します。

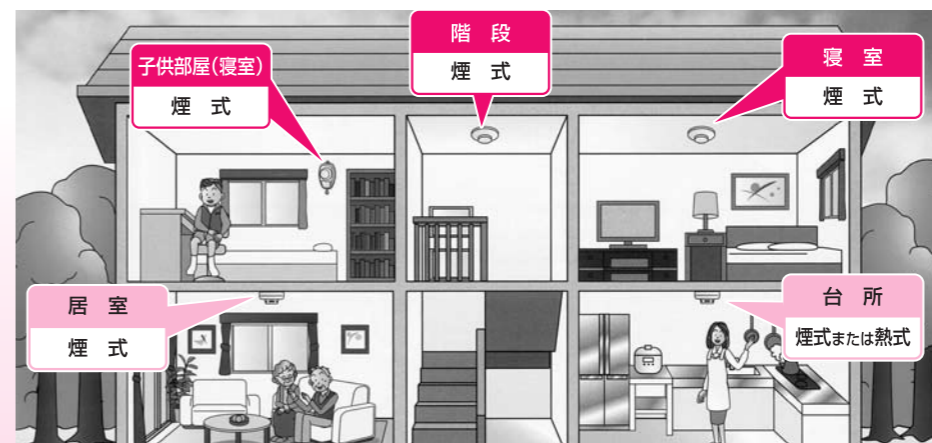


まだ設置しておられないご家庭は大切な命を守るために早く設置して安心して暮らせる地域作りに協力していただきますようお願いいたします。

住宅用火災警報器設置率(平成21年12月調査)

全国 : 52.0%
島根県 : 27.6%
雲南消防本部管内 : 22.2%

島根県の設置率は全国平均を大きく下回り(全国ワースト3)、更に当本部管内の設置率は県平均よりも下回っています。



… 設置義務あり
… 設置が望ましい



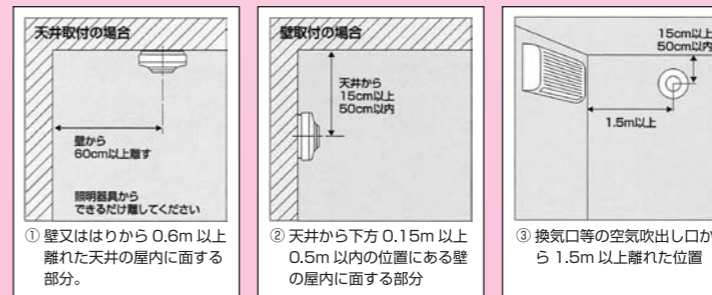
NSマーク

- 寝室に使う部屋に取り付けましょう。
- 2階に寝室がある場合は、階段室にも必要です。
- 設置義務のない台所や居間などにも設置すると安心です。
- 悪質な訪問販売に気をつけましょう。
- 消防検定を受けたNSマークが付いているものを選びましょう。

取り付け位置と取り付け方法

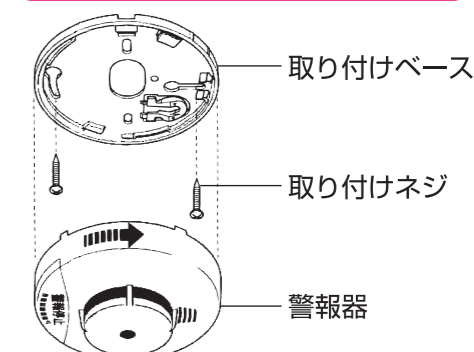
! 下記の位置に取り付けましょう

できるだけ早く煙をキャッチできるように、煙を感知しやすい場所に設置しましょう。



- ① 壁又は天井から0.6m以上離れた天井の屋内に面する部分。
- ② 天井から下方0.15m以上0.5m以内の位置にある壁の屋内に面する部分
- ③ 換気口等の空気吹き出し口から1.5m以上離れた位置

電池式住宅用火災警報器取り付け例



ネジ2本で簡単に取り付けられます。

平成23年5月31日までに設置が必要です。

平成22年度危険物取扱者・消防設備士試験日程について

〈危険物取扱者試験日程〉

試験日	願書受付	試験地	試験種類
平成22年11月7日(日)	書面申請 9/6(月)～9/21(火) 電子申請 9/3(金)～9/18(土)	松江 出雲大田 浜田 隠岐	甲種 乙種全類(第1～第6類) 丙種
平成23年2月6日(日)	書面申請 12/9(木)～12/22(水) 電子申請 12/6(月)～12/19(日)	松江 出雲 浜田 益田 隠岐	乙種全類(第1～第6類)

〈消防設備士試験日程〉

試験日	願書受付	試験地	試験種類
平成22年8月22日(日)	書面申請 6/24(木)～7/8(木) 電子申請 6/21(月)～7/5(月)	松江 浜田	甲種1～4類 乙種1～4類・7類 甲種特類・5類 乙種5類・6類

受験願書及び試験手数料払込書は消防本部及び各消防署にあります。詳細については(財)消防試験研究センター 島根県支部(TEL0852-27-5819)にお問い合わせ下さい。

危険物取扱者保安講習について

〈講習科目及び時間〉

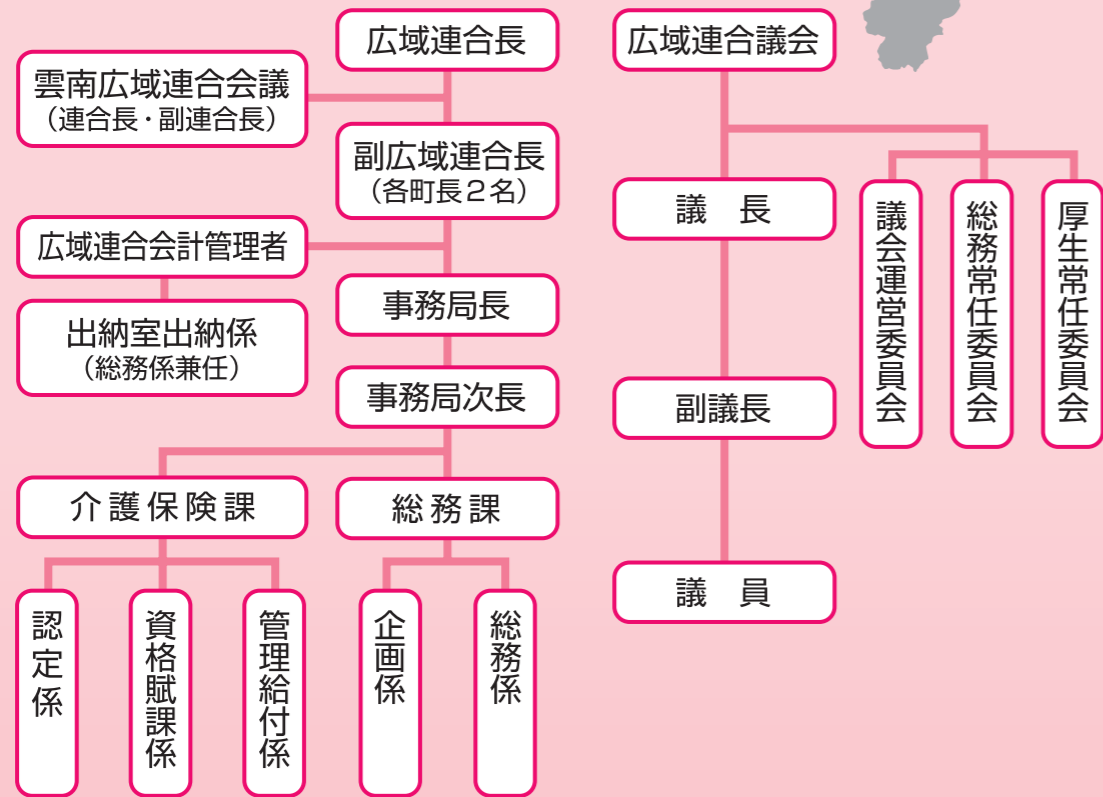
対象	[A]給油取扱所以外の危険物施設において、従事する取扱者を対象とした講習	[B]給油取扱所において、従事する取扱者を対象とした講習
内容等		
受付	8:45～ 9:00	12:45～ 13:00
危険物関係法令に関する事項	9:00～ 10:00	13:00～ 14:00
危険物の火災予防に関する事項	10:00～ 12:00	14:00～ 16:00

〈講習実施日及び場所〉

月 日	開催地
7月 8日(木)	松江市
7月16日(金)	出雲市
8月 5日(木)	益田市
8月 6日(金)	浜田市
9月 2日(木)	安来市
9月17日(金)	雲南市
10月26日(火)	大田市
11月18日(木)	松江市

平成22年度

雲南広域連合組織図



職員配置

雲南広域連合では4月1日付で定期人事異動を行いました。各課の主な事務、係、担当する職員は次のとおりです。

課長	係長	係員(兼任)	所掌事務
加津山 幸登 (兼) 総務課	田中 修	山本 亮	文書管理・施設財産管理・広域行政・ふるさと市町村圏シ・観光
中村 清男 (兼) 事務局次長 (総務課長兼務)	関島 哲郎	土江 慶彦	介護保険事業計画・介護保険事業計画審議会・地域密着型サービス・事業者指定・実施指導・保険財政・事業者広報・苦情相談・受給者管理・保険給付サービス計画管理
岡田 徹 (兼) 事務局次長 (介護保険課長兼務)	岡田 徹	石原 達也	被保険者の資格管理・保険料の賦課徴収・介護保険事務処理システム
岡田 徹 (兼) 事務局次長 (介護保険課長兼務)	和栗 慎樹	大塚 雄彦	要介護認定・要支援認定・介護認定審査会・認定調査
岡田 徹 (兼) 事務局次長 (介護保険課長兼務)	足立 純一	岡田 祐也	(認定審査専門員) 奥田 みどり
出納室	田中 修	山本 亮	(訪問認定調査員) 長谷川 照子
出納係	認定係	資格賦課係	管理給付係
田中 修	認定係	資格賦課係	管理給付係
山本 亮	認定係	資格賦課係	管理給付係
松田 佳恵	認定係	資格賦課係	管理給付係
荒木 孝子	認定係	資格賦課係	管理給付係
室下 悦子	認定係	資格賦課係	管理給付係
多田 律子	認定係	資格賦課係	管理給付係
坪倉 美枝子	認定係	資格賦課係	管理給付係

平成22年度 雲南広域連合長 所信表明要旨

一 介護保険事業について
 昨年度は、平成二十一年度から二十三年度までの三年に係る「第四期介護保険事業計画」の初年度というところで事業運営を進めてきました。
 予防事業等による効果を見込むものの、後期高齢者や認知症高齢者の増加に起因する介護サービス基盤の整備に伴い、保険給付費が増加するため、基準月額保険料を四、二〇〇円といたしました。そして、保険料負担の公平性の観点から保険料段階について、これまでの六段階設定を直し十段階設定としたところ。
 また、介護従事者処遇改善の観点から、プラス3%の介護報酬の改定が実施されました。これは、事業所における介護サービス、人員等に係る加算に伴って措置されるものです。しかし、介護従事者の処遇改善に一定の効果はあったものの、今回の仕組みでは、制度創設時の期待には届かない状況であると考えます。
 今後、第四期計画を推進するにあたっては、関係機関とより密接な連携を図り、サービス基盤整備の促進、サービスの質の向上、介護予防の充実、住民啓発等に努め、適正で安定的な事業の運営に努めていきます。

二 地域振興事業について
 先般二月二十三日・二十四日の二日間、広島市において「第十三回島根ふるさとフェア」が開催されました。雲南地域から屋内・屋外の会場に三十の事業者の出展をいただいたところでございます。両日とも天候に恵まれたこともあり、全体の入場者数も十八万六千人と過去最高となりました。
 一方、出展に伴います雲南地域の販売額については、昨年を大きく上回り、千五百二十八万円余りと売り上げも過去最高となったところでございます。出展された皆様の積極的な商品PR、販売活動に敬意を表します。
 また、今回はこれまでに無く、若い家族連れや若いグループの来場が目立ち、今後、広島の情報発信、物販のターゲットとなる対象がさらに広がるのではないかと期待もしています。各ブースでは、雲南地域の優れた特産品の販売に併せ、二市二町の魅力を、それぞれ工夫を凝らし存分にPRして参りました。
 更に、各市町のコーナーでは、定住情報など様々な情報発信も行われたところでございます。

三 広域行政、広域連携について
 今後進む地域主権改革に対応するため、国、県においてもこの対策について様々な視点から検討されているところがございます。
 その中で、広域的に行政サービスを提供する一部事務組合についても、その課題として、意見調整に要する時間や、迅速な意思決定の困難性も指摘されています。
 また、市町村合併により構成団体が大きく減少したものの、同一の構成団体の一部事務組合が複数存在するケースについては、その処理方式について、より効率化を図るべく整理統合をすべきとの見解も示されています。
 (この雲南地域においても、広域連合設立以来、一部事務組合のあり方について様々な議論をし、各組合が連携し業務の改善を続けて参りました。
 具体的には、各組合広報誌の共同発行による、経費の大幅な削減と全戸配布の実現、各組合正副管理者等の報酬の廃止及び組合議員の報酬の調整、統一による経費削減に努めて参りました。
 さらに、各二部事務組合職員も構成市町の職員との整合性を図るべく退職奨励制度の統廃、そして厳しい財政状況の中で、特例措置による給与削減も実施しているところがございます。
 しかしながら、一部事務組合の業務を効率化するためには、必要なら、定められた組織を超えたさらなる調整には、自ずと限界があるものと考えます。
 そこで、これまでの雲南地域の広域連携の蓄積を活かし、今後、更に広域行政サービスの連携強化を図るためには、住民サービスの低下、そして新たな財政負担の発生を想定しない一部事務組合広域連合の再編統合は大きな効果をもたらすものと考え、一部事務組合等組織再編基本方針を作成しました。
 平成二十二年には、新たな雲南地域の広域連携計画を策定することとしていますが、この計画には、雲南地域の広域連携を軸に、これまでの「広域的な地域振興計画」と、新たに「さらなる行政の効率化を進めるための広域行政機構・組織の見直し等」を盛り込んだ計画とすることを考えてございます。
 終わりに、雲南広域連合が介護保険事業の運営をはじめ、広域的な地域振興事業の推進として、さらなる広域行政施策の連携等、雲南地域の一体的な醸成に全力で取り組む決意を申し述べ、まして所信とさせていただきます。

議会報告

平成22年2月23日、平成22年2月雲南広域連合議会定例会を開催しました。この議会には次の議案を提出し、いずれも原案のとおり可決されました。

- 議決された事項**
- 平成21年度雲南広域連合介護保険特別会計補正予算(第4号)
 主な内容: 保険給付費の減額など……△262,030千円
 - 平成22年度雲南広域連合一般会計予算
 歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ62,068千円と決めました。(詳細は16ページ)
 - 平成22年度雲南広域連合介護保険特別会計予算
 歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ6,841,000千円と決めました。(詳細は17ページ)

介護保険特別会計

当初予算額は6,841,000千円で、前年度当初予算と比べて42,658千円(対前年度比約0.6%)の増額となりました。

前年度と比べて増額となった主な理由

- 第4期事業計画の基盤整備や高齢者人口・要介護認定者数の増加を見込み、保険給付費を増額したため。
- 地域支援事業(介護予防事業、包括的支援事業、任意事業)に要する費用を増額したため。

主な使いみち

保険給付費 …… 6,477,478千円

要支援・要介護者が居宅サービスや施設サービスを利用したときにかかる費用のうち、本人が負担する部分(1割)を除いた費用部分(9割)のことで、雲南広域連合が負担する費用です。

地域支援事業費 …… 195,679千円

地域支援事業を実施するための費用です。

総務管理費 …… 109,897千円

介護システムの維持管理にかかる費用や人件費などの費用です。

徴収費 …… 4,862千円

保険料の賦課徴収や滞納処分を行うための費用です。

介護認定審査会費 …… 48,506千円

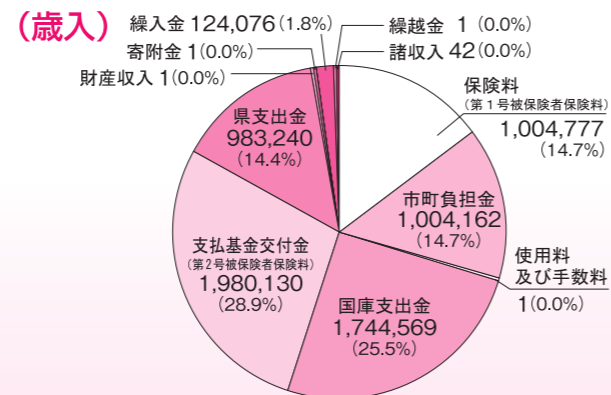
認定調査、主治医意見書作成、認定審査会実施のための費用です。

趣旨普及費 …… 560千円

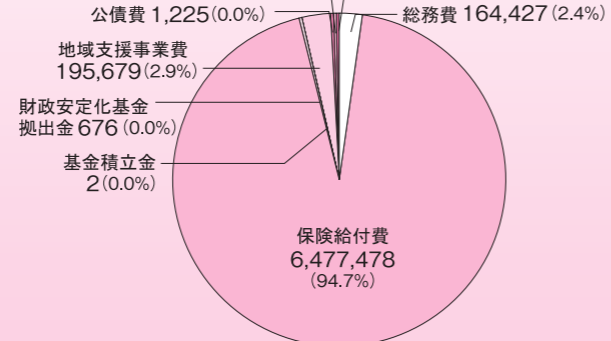
介護保険制度の仕組みやサービスの利用促進などを広報等でお知らせするための費用です。

平成22年度介護保険特別会計予算

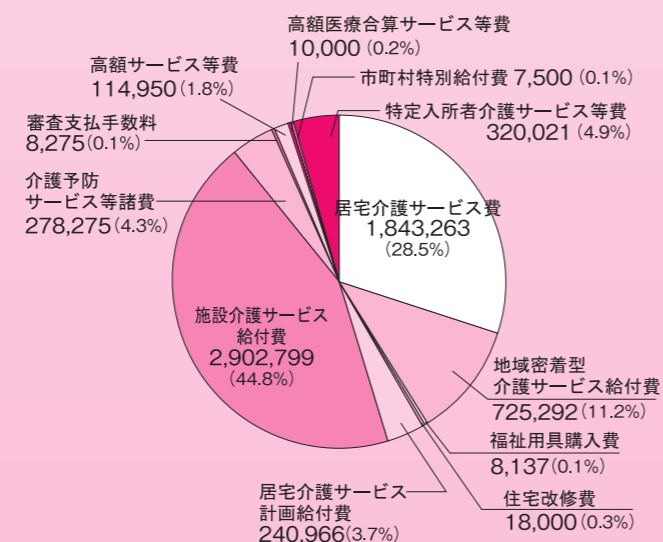
(単位:千円)



平成22年度介護保険特別会計予算(歳出)



保険給付費(6,477,478千円)の内訳



平成
22
年度

雲南広域連合当初予算の概要

一般会計

当初予算額は62,068千円で、前年度当初予算と比べて215千円(対前年度比約▲0.3%)の減額となりました。

歳入

主なものとして構成市町負担金が158千円の減額、諸収入が57千円の減額となっています。

歳出

企画費の主な使いみち

地域資源等活用事業 …… 3,035千円

【地元ふるさと応援団】

19年度に養成した「ふるさとガイド」の活用を図っていくためのレベルアップ講座や観光客受け入れ体制の構築を行います。

【在広ふるさと応援団】

広島在住の「雲南ふるさと応援団」へ情報発信やフェア等の応援により雲南地域の魅力を発信していきます。

【地域づくり研修】

地域づくりや地域活動を担う人材を育成するための広域的な研修会等を開催します。

物産発信事業 …… 283千円

【雲南産品の展開】

事業者が主体となり開催する物産展に併せ、雲南地域の伝統芸能や情報を発信するイベントを開催します。

イメージ展開事業 …… 7,089千円

【雲南地域情報発信フェア】

平成20・21年度に引き続き広島市で情報発信に特化したフェアを開催し、雲南地域の認知度向上・誘客促進を図ります。

【各種媒体の活用】

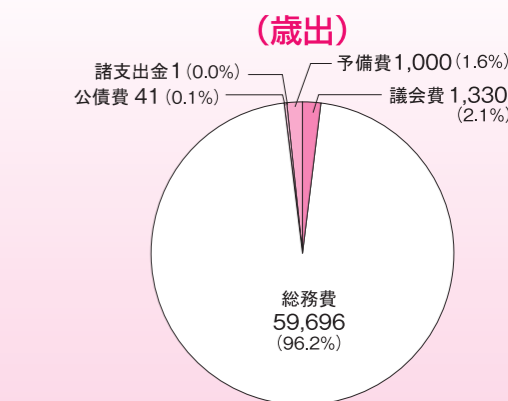
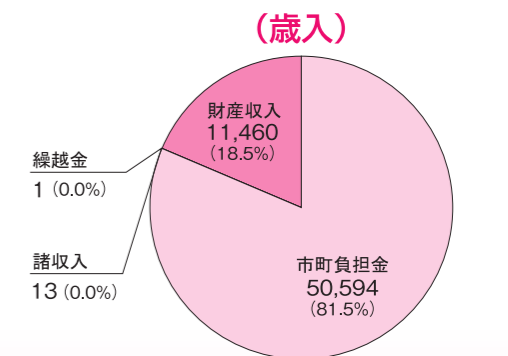
広島市において情報誌やテレビ、バスの背面広告等様々な媒体を活用し雲南地域の情報を発信していきます。また、新たに観光パンフレットを作成し、県内外から更なる観光客誘致に努めます。

【島根ふるさとフェア】

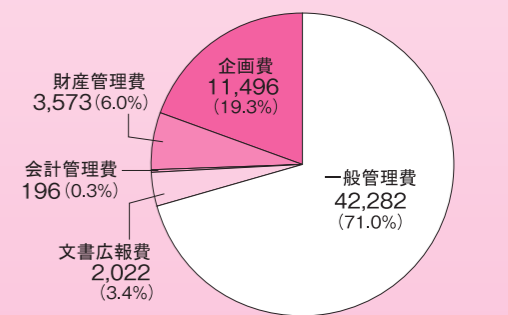
広島市で開催するこのフェアで雲南地域の魅力を発信するブースを設け、雲南地域へのバスツアー参加募集やPRコーナーなど観光情報発信のためのブース運営を行います。

平成22年度一般会計予算

(単位:千円)



※総務費のうち総務管理費(59,569千円)の内訳



雲南地域広域連携計画策定事業 …… 500千円

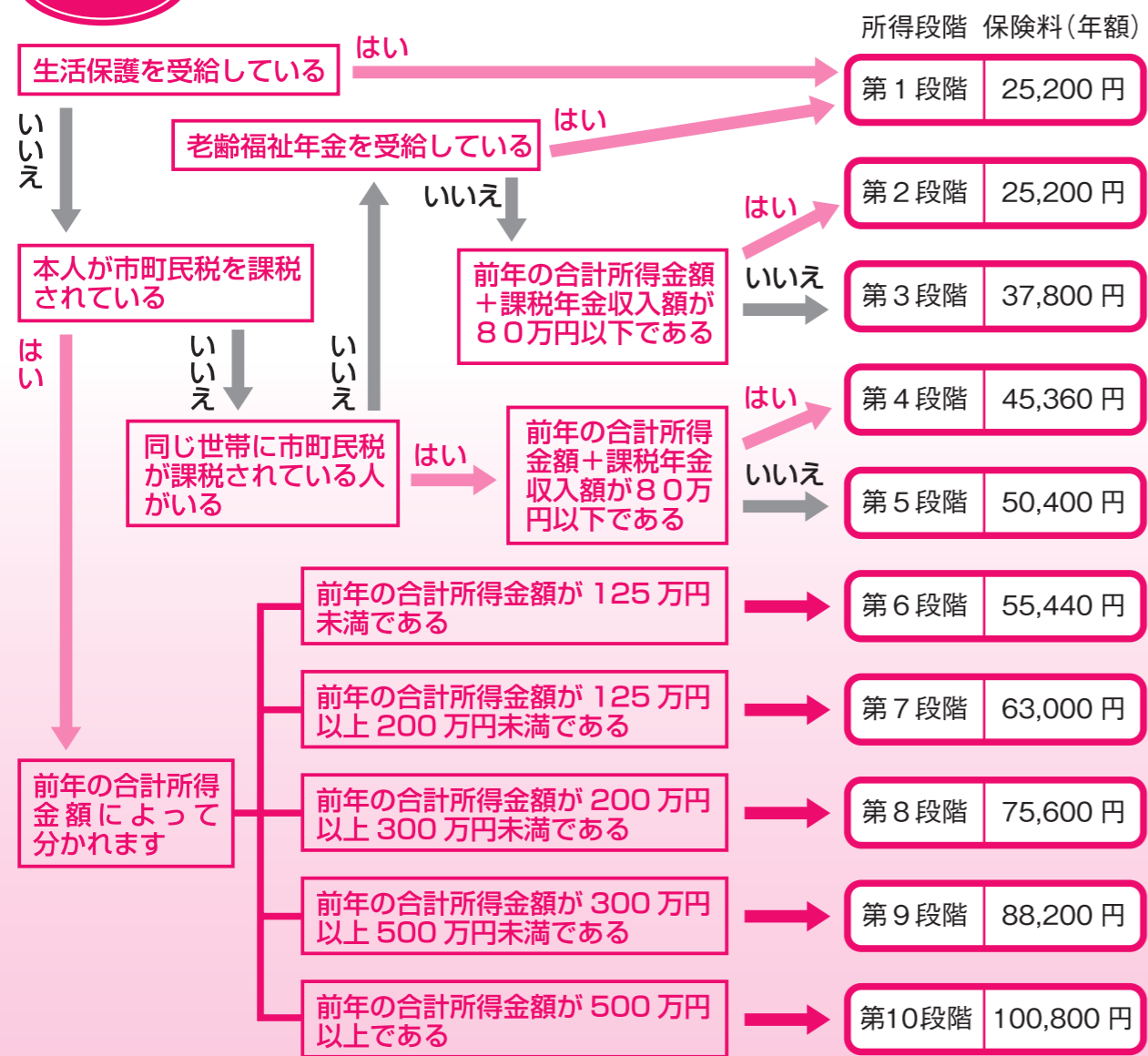
【雲南地域広域連携計画】

雲南地区ふるさと市町村圏計画(後期計画 H18~ H22)の次期計画「雲南地域広域連携計画」を策定します。

チャートでわかる 65歳以上の方の介護保険料額

※合計所得金額とは、収入金額から必要経費に相当する金額を控除した金額のことです。
※課税年金収入額とは、障害年金及び遺族年金以外の年金額のことです。

スタート



松田 佳恵
この度、3年ぶりに地元雲南広域連合に帰り、また仕事をさせていただくことになりました。認定調査員としては8年目になりましたが、今までの調査で出会った方々から学んだ事を大切に、地元の皆様のお役に立てるように一杯頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願います。

訪問調査員の異動がありました！
雲南広域連合では、訪問調査業務について、更新申請は主に事業所に委託して実施し、新規申請・変更申請は直接実施しています。
この度、調査員の異動がありましたので、紹介します。
訪問調査の際にはどうぞよろしくお願います。

介護保険料の仮徴収について

雲南広域連合では、介護保険料は、年間保険料額を年6回に分け、偶数月(年金が支給される月)に納めていただきます。ただし、4月、6月、8月に納めていただく保険料は、所得や住民税の課税状況が確定していませんので、仮に決定した保険料となります。(これを仮徴収といいます。)また、それぞれの額については、4月に65歳以上の方にお送りした『介護保険料仮徴収開始通知書』でお知らせしていますので、ご確認ください。

なお、10月以降は、所得や住民税の課税状況より確定した平成22年度の年間保険料額(次のページの10段階のいずれかの金額)から仮徴収の間に納めていただいた保険料額を差し引いた額を10月、12月、2月の3回に分けて納めていただきます。また、平成22年度の確定した保険料額は、9月にお送りする『介護保険料決定通知書』でお知らせする予定にしています。



特別徴収 (年金天引きにより納めている方)

仮徴収の間に納めていただく各月の保険料額は、平成22年2月に年金から天引きされた金額と同じ額になります。ただし、6月及び8月に納めていただく保険料額は、4月時点で仮に決定した年間保険料額の半額を4月、6月、8月の3回で納めていただくよう調整します。そのため、中には4月の金額に比べ6月と8月の額が高くなったり、低くなったりする場合があります。

普通徴収 (口座振替や納付書で納めている方)

平成21年度の所得段階をもとに、4月、6月、8月に下記のいずれかの金額を納めていただきます。

平成21年度の所得段階	1回あたりの保険料額	平成21年度の所得段階	1回あたりの保険料額
第1段階の方	4,200円	第6段階の方	9,200円
第2段階の方	4,200円	第7段階の方	10,500円
第3段階の方	6,300円	第8段階の方	12,600円
第4段階の方	7,500円	第9段階の方	14,700円
第5段階の方	8,400円	第10段階の方	16,800円

なお、4月2日以降に65歳になられた方や雲南地域外から転入された方は、1回あたり8,400円を仮の保険料として納めていただきます。

保険料の急激な上昇が抑制されています

介護従事者の処遇改善のための介護報酬改定(3%プラス)に伴い、65歳以上の方の介護保険料は上昇していますが、その上昇分を国が負担することで保険料の急激な上昇が抑制されています。本来4,258円の保険料基準額が4,200円に軽減されています。

福祉用具販売事業者・住宅改修施工事業者の皆さま

利用者の方が受領委任払いを希望された場合、必ず事業者の皆さまの承諾が必要となります。以下の内容に承諾いただけたら、ご協力くださいますようお願いいたします。

承諾いただきたい内容

- ① 利用者へ費用の1割を請求し受領すること。
- ② 利用者にかわって費用の9割分を一時立て替えていただくこと。
- ③ 立て替えていただいた費用の9割分は、支給申請書の提出があつてから振込みがあるまでに2ヶ月程度かかること。

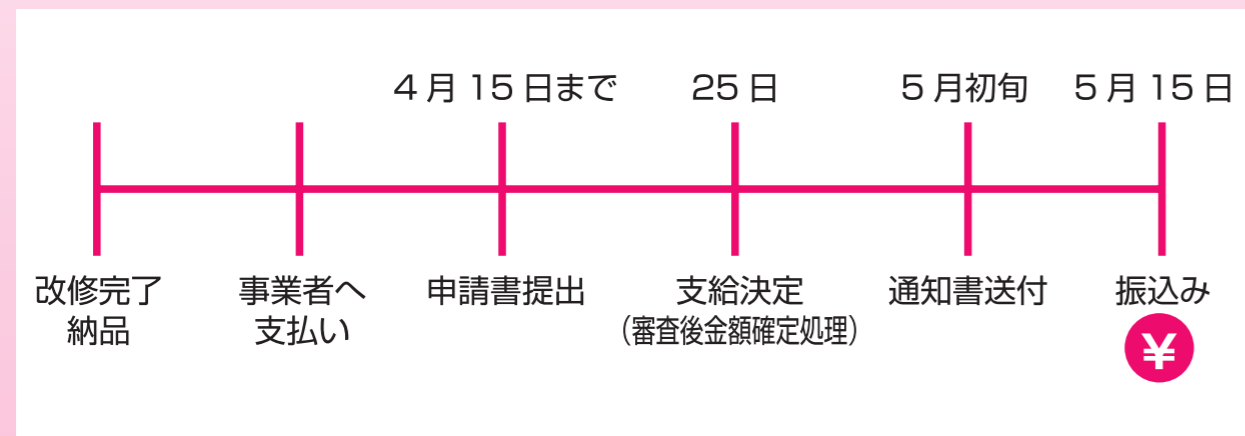
委任状兼承諾書

利用者の方と話し合ってください承諾いただけたら委任状兼承諾書の受任者欄をご記入ください。支給申請書の添付書類となります。それにより、通知や振込み等を行います。

振込み

振込日は毎月15日です。(15日が土日祝祭日の場合は、前営業日です)
例) 15日が日曜日の場合
⇒13日(金)が振込日

スケジュール (支給申請を4月15日までに提出した場合)



限度額

共に支給限度基準額があります。

- 福祉用具購入費・・・同一年度で購入費用10万円(支給額は9万円)が限度
- 住宅改修費・・・同一住宅で改修費用20万円(支給額は18万円)が限度

平成22年度より福祉用具購入費と住宅改修費の受領委任払いを始めました。

平成22年4月より、償還払いのほかに利用者の皆さんの一時負担を軽減するため、受領委任払いを選べるようになりました。(従来通り償還払いもご利用いただけます。)

【受領委任払い】

利用者は費用の1割を事業者へ支払い、保険給付(費用の9割)を利用者から委任を受けた事業者へ支払います。(下図参照)



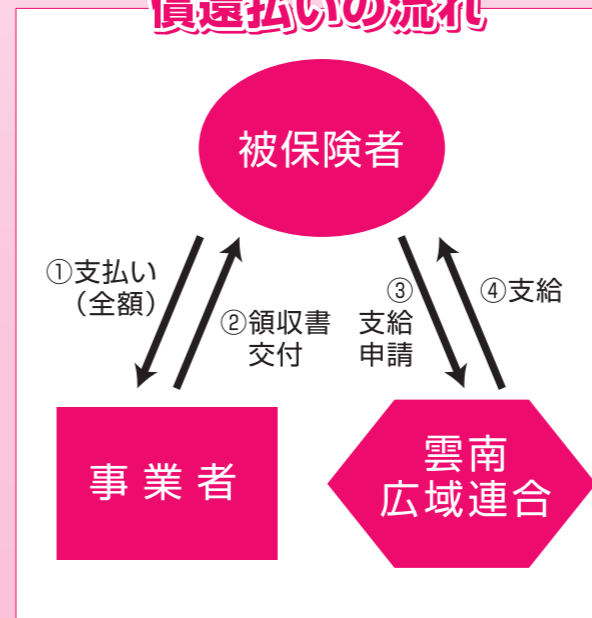
受領委任払いを希望される場合は・・・

- 事業者は利用者にかわって費用の9割分を一時立て替えていただくため、必ず事業者の承諾が必要となります。
- 福祉用具購入後または住宅改修後、支給申請書提出の際に委任状兼承諾書を添付して申請書を市町窓口へ提出してください。
※支給申請書の提出は、費用支払い後、すみやかにお願い致します。

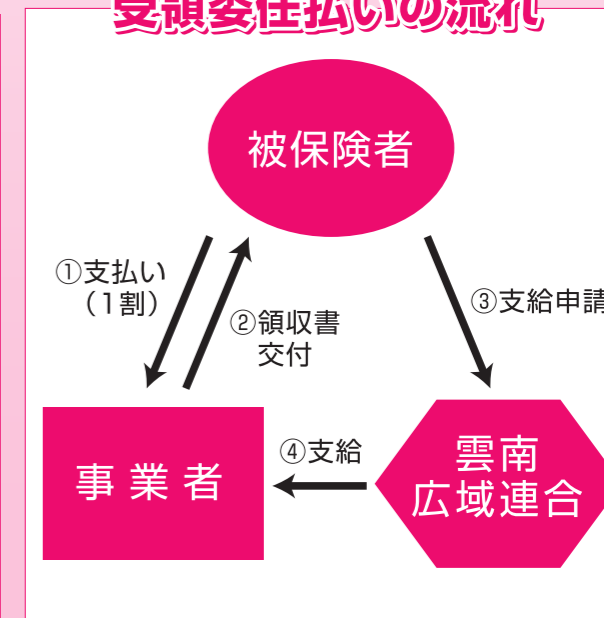
受領委任を選択できる人

- 要介護(要支援)認定を受けている人で、次のいずれにも該当する人
- (1)介護保険料滞納により給付制限を受けていない人
 - (2)事業者の承諾が得られていること

償還払いの流れ



受領委任払いの流れ



ゆきの里 イベント情報

7月24日(土) 飯南町

とんぼらふる里夏祭

頓原庁舎前駐車場
頓原の夏の風物詩。盛りだくさんの催しに様々な夜店も並びます。
時 開始18時
問 とんぼらふる里夏祭実行委員会
TEL 0854-72-0907



7月25日(日) 雲南市三刀屋町

三刀屋天満宮夏の例祭

三刀屋天満宮の神事が行われ、花火が上がり夜店も立ち並んで賑わいます。
問 雲南市観光協会三刀屋支部
TEL 0854-45-2111



7月28日(水) 奥出雲町

船通山宣揚祭

船通山
八岐大蛇の尾から出たといわれる天叢雲剣(アメノムラクモノツルギ)の出頭を記念する祭事。
時 開始10時30分～(予定)
問 奥出雲観光協会
TEL 0854-54-2260



7月18日(日) 飯南町

飯南ヒルクライム2010

琴引山周辺
中国地方最大級のヒルクライム自転車レース。絶景なハードコースは抜群の達成感!
時 開始8時
入 5,000円
問 NPO法人サイクリストビュー
TEL 0852-21-3920



7月20日(火) 雲南市木次町

きすき夏まつり

斐伊川河川敷ほか
商店街が歩行者天国となり、夜店が立ち並びます。間近で見られる打ち上げ花火は迫力満点。
問 雲南市観光協会木次支部
TEL 0854-40-1082



7月23日(金) 雲南市加茂町

焼火(たくひ)神社二十三夜祭

加茂中(連坦地)
焼火神社の神事が行われ、夜店が賑やかに立ち並びます。同日赤川河川敷で花火も打ち上げられます。
問 雲南市商工会加茂支所
TEL 0854-49-7227



7月3日(土)・4日(日) 飯南町

半夏まつり

赤名連坦地
江戸末期の牛市の名残で、花火や出店、ステージイベントなど楽しさいっぱいです!
問 赤名の夏まつり実行委員会(飯南町商工会内)
TEL 0854-76-2118



7月17日(土) 雲南市大東町

夜神楽大会

神楽の宿(大東町須賀)
神楽の宿を舞台に、優雅で幻想的な神楽の舞を夜が更けるまで上演します。
時 開始19時20分
問 海潮地区振興会(海潮基幹集落センター内)
TEL 0854-43-2705



2010

[EVENT INFORMATION 2010]



時 時間 入 入場料・参加料 問 お問い合わせ

6月13日(日) 雲南市加茂町

第10回ラメール ストリングコンサート

加茂文化ホールラメール(大ホール)
ラメールヴァイオリン教室の年に一度の発表会。小学生から大人まで総勢30人が出演!
時 未定
入 無料
問 加茂文化ホールラメール
TEL 0854-49-8500

6月中旬 雲南市大東町

赤川ほたる 観賞バス運行

赤川ほたる(ゲンジボタル)が飛び交う最適の時期に観賞バスを運行します。
入 大人700円 小中学生500円 幼児無料
問 赤川ほたる保存会事務局
TEL 0854-43-8164



6月20日(日) 飯南町

東三瓶フラワーバレー 第19回ポピー祭

志津見地内イベント会場
約10haの花畑に100万本のポピーが咲き、家族みんなで楽しめる企画がいっぱい!
問 飯南町産業振興課
TEL 0854-76-2214



6月13日(日) 雲南市木次町

小松亮太 Collaborates With UN-NAN

チェリヴァホール(2階ホール)
世界を舞台に活躍中のバンドネオン奏者、小松亮太氏の雲南市公演。お聴き逃しなく!



時 開場13時30分 開演14時
入 一般1,500円 高校生以下1,000円 (全席自由、当日300円増)
問 チェリヴァホール
TEL 0854-42-1155

6月13日(日) 奥出雲町

吾妻山山開き

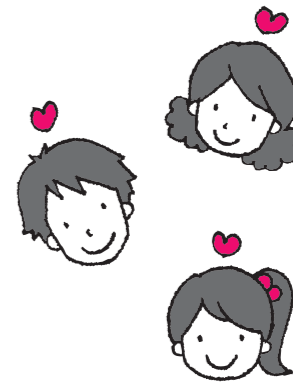
大峠地内 吾妻山第二駐車場
春はつつじ、夏はキャンプ、秋は紅葉、四季を通じて楽しめる自然の宝庫です。
問 馬木コミュニティセンター
TEL 0854-53-0201



6月12日(土) 飯南町

第6回 泥おとし神楽共演大会

谷体育館(飯南町井戸谷)
農作業の疲れを神楽で発散!今年も地元と広島、島根の神楽団との豪華な共演です。
時 開始17時
入 前売り1,000円(当日1,200円)
問 谷公民館
TEL 0854-76-3629





雉(キジ)

キジは豊かな自然の中で生息している、日本の国鳥です。また国内の多くの自治体で「市町村の鳥」に指定されています。

大きさは雌雄で差があり、オスのキジが全長80センチ前後、メスでは60センチ前後です。